

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公表番号】特表2016-526193(P2016-526193A)

【公表日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-052

【出願番号】特願2016-502659(P2016-502659)

【国際特許分類】

G 06 T 7/20 (2017.01)

A 61 J 7/00 (2006.01)

H 04 N 7/18 (2006.01)

【F I】

G 06 T 7/20 300 A

A 61 J 7/00 Z

H 04 N 7/18 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月20日(2017.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

薬剤投与確認装置であって、

薬剤投与に関連した行為の特定のシーケンスを実行するようにユーザを促すための、1

つ以上のインストラクションを表示するためのディスプレイと、

薬剤を投与するユーザの1つ以上のビデオシーケンスをキャプチャするためのビデオキャプチャデバイスと、を含み、キャプチャされているビデオの少なくとも一部は前記ディスプレイに表示され、且つ前記ビデオキャプチャデバイスによってキャプチャされた視野の部分は前記ディスプレイに表示され、

さらに、

キャプチャされた前記1つ以上のビデオシーケンスを格納するためのメモリと、

ユーザを代表する不審な行動の1つ以上の兆候を決定するよう、格納された前記ビデオシーケンスの少なくとも1つを分析するためのプロセッサと、を含む、薬剤投与確認装置。

【請求項2】

前記不審な行動の1つ以上の兆候は、前記ビデオキャプチャデバイスの視野を離れるユーザの顔、口に移動するユーザの手、および前記行為の特定のシーケンスのうちの1つ以上の行為を実行するユーザのタスクの際の時間の分析の結果の1つ以上を含む、請求項1に記載の薬剤投与確認装置。

【請求項3】

薬剤を投与するユーザの1つ以上のビデオシーケンスをキャプチャするためのオーディオキャプチャデバイスと、

キャプチャされた前記1つ以上のオーディオシーケンスを格納するためのメモリと、

ユーザを代表する不審な行動の1つ以上の兆候を決定するよう、格納された前記オーディオシーケンスの少なくとも1つを分析するためのプロセッサと、をさらに含む、請求項1または2に記載の薬剤投与確認装置。

**【請求項 4】**

前記薬剤投与は、錠剤の摂取、溶解可能なフィルムの摂取、吸入器の作動、および注射可能な薬剤装置の作動の 1 つ以上を含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の薬剤投与確認装置。

**【請求項 5】**

薬剤投与を確認するための方法であって、  
ビデオキャプチャデバイスによって、薬剤を投与するユーザの 1 つ以上のビデオシーケンスをキャプチャするステップと、

オーディオキャプチャデバイスによって、薬剤を投与するユーザの 1 つ以上のオーディオシーケンスのキャプチャするステップと、

キャプチャされた前記ビデオシーケンスおよびオーディオシーケンスの 1 つ以上を一時的でないメモリに格納するステップと、

前記ユーザを代表する不審な行動の 1 つ以上の徴候を決定するよう、1 つ以上の格納された前記ビデオシーケンスおよびオーディオシーケンスの少なくとも 1 つを分析するステップと、

複数のユーザからの複数の格納されたビデオシーケンスおよびオーディオシーケンスから不審な行動の 1 つ以上の徴候を識別するステップと、

不審な行動の 1 つ以上の識別された前記徴候の 1 つ以上に関連付けられるフィルタを生成するステップと、

格納された前記ビデオシーケンスおよびオーディオシーケンスの少なくとも 1 つに前記フィルタを適用するステップと、を含む、方法。

**【請求項 6】**

前記不審な行動の 1 つ以上の徴候は、前記ビデオキャプチャデバイスの視野から離れるユーザの顔と、口に移動するユーザの手と、錠剤が口の中にある際に咳をするユーザと、錠剤を吐き出すユーザとの群から選択される、請求項 5 に記載の方法。